

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	国語	現代の国語	2	6	2	12	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		新編現代の国語 東京書籍	新編現代の国語 NHK出版				1		

学習目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成し、実社会に必要な知識・技能を身に付ける。他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自ら発信する力も向上させ、言葉を通して他者や社会に関わる態度を養う。

レポート番号	提出目安時期	評価の規準
1	5月	「こそめスープ」、「ルリボシカミキリの青」について
2	6月	「未来をつくる想像力」、「水の東西」について
3	7月	「スキマが育む都市の緑と生命のつながり」、「無彩の色」について
4	10月	「鍋洗いの日々」、「森で染める人」、「真夏のひしこ漁」について
5	11月	「美しさの発見」、「りんごのほっぺ」について
6	12月	「不思議な拍手」、「真の自立とは」について

評価の観点	評価の規準
知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	国語	言語文化	2	6	2	12	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		新編言語文化 東京書籍	新編言語文化 NHK出版				1		

学習目標

言葉による見え方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を育成することを目標とする。その上で、言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5月	作品「さくらさくらさくら」、「とんかつ」について
2	6月	詩歌（短歌）（俳句）、作品「冬が来た」について
3	7月	作品「羅生門」、「夢十夜」について
4	10月	作品「今日はそのことをなさんと思へど『徒然草』」、和歌について
5	11月	作品「芥川『伊勢物語』」、「木曾の最期『平家物語』」について
6	12月	漢文訓読の基本、作品「春望」、「論語」について

評価の観点	評価の規準
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、日本の言論文化に対する理解を深めている。
思考・判断・表現	「読み」「書き」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を身に付け、他者との関わりを通して伝える力を高めることができる。
主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者と関わり、言葉が持つ価値への認識を深めようとしている。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年		地理総合	2	6	2	12	48	筆記	2
種別	地理 歴史	教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		地理総合 東京書籍	新詳高等地図 帝国書院				1		

学習目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。
------	---

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	地球上の位置や範囲のとらえ方、地図の種類と用途、国内や国家の結び付きの変容
2	6 月	生活文化の多様性と国際理解、生活文化と自然環境（地形）
3	7 月	生活文化と自然環境（気候）、生活文化と産業
4	10月	地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口問題
5	11月	食料問題、居住・都市問題、民族問題、持続可能な社会の実現を目指して
6	12月	自然環境の特色をふまえた防災への取り組み

評価の観点	評価の規準
知識・技能	・ 地図や地理情報システム（GIS）を考察し、活用に必要な技能を身に付けることができる。 ・ 諸課題の解決を目指した各国の取り組みや国際協力の必要性を理解することができる。
思考・判断・表現	・ 世界の人々の生活文化の多様性を知ること、自他の文化を尊重し国際理解を図ることができる。 ・ 地球規模の自然環境にかかわる諸課題の現状や要因、解決に向けた取り組みが理解できる。
主体的に学習に取り組む態度	・ 地理的・歴史的な知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年		歴史総合	2	6	2	12	48	筆記	2
種別	地理 歴史	教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		歴史総合 東京書籍	歴史総合 NHK出版				1		

学習目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目標とする。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5月	近代化について、世界と日本の開国
2	6月	国民国家と明治維新
3	7月	国際秩序の変化、第一次世界大戦と大衆社会
4	10月	経済危機と第二次世界大戦
5	11月	グローバル化、冷戦と世界経済
6	12月	世界秩序の変容と日本

評価の観点	評価の規準
知識・技能	- 文書・図像などの諸資料を活用して情報を読み取ることができる。 - 日本・世界の歴史から、日本と世界の相互関係を構造的に整理することができる。
思考・判断・表現	諸資料を活用し、課題を追求・解決しながら、歴史の変化や日本を含む世界の歴史の関連性について考察し、表現することができる。
主体的に学習に取り組む態度	地理的・歴史的知識を理解し、現代的な諸課題に結びつけながら自分自身の課題として意識し、主体的に探究し続けることができる。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	数学	数学Ⅰ	3	9	3	18	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		新数学Ⅰ／解答編 東京書籍	新数学Ⅰ NHK出版				1		

学習目標

数と式、図形と計量、及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈、表現、処理したりする技能を身につける、また数学のよさを認識し、数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身につけることを目標とする。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5月	数の計算 (1) 正の整数の四則演算 (3) 分数の四則演算
2	6月	数の計算 (4) 正負の数の四則演算 (5) 公倍数と公約数
3	7月	数と式 (1) 文字と式 (2) 面積計算
4	10月	数と式 (3) 2乗根の四則演算 (4) 有理数と無理数
5	11月	数と式 (5) 1・2次方程式 (6) 1次不等式
6	12月	関数 (1) 1次関数とグラフ (2) 2次関数とグラフ
7	11月	関数 (3) 2次関数の最大・最小 (4) 2次不等式
8	11月	三角比(1) 鋭角・鈍角の三角比 (2) 正弦定理と余弦定理
9	12月	数学的思考の活用

評価の観点	評価の規準
知識・技能	数学は何千年もの年月を経て発展し、現在でも活発に研究され進化している。普段の生活の場面で、その数学の知識や技能を身に付ける能力を養う。
思考・判断・表現	数と式、2次関数、三角比、データの分析、論理を学び、世界共通の表し方と記法を身に付け、これらを用いて論証を進める能力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	教科書の例や例題の内容を理解し、解法の書き方を覚え、それに沿って練習問題で自分の解答を作る能力を養い、学んだ事を人に説明する力を付ける。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	理科	科学と人間生活	2	6	8	12	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		改訂 科学と人間生活 東京書籍	科学と人間生活 NHK出版				4		

学習目標

自然と人間生活とのかかわり及び科学技術が人間生活に果たしてきた役割について、身近な事物・現象に関する観察、実験などを通して理解させ、科学的な見方や考え方を養うとともに、科学に対する興味・関心を高める。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	1編 生命の科学 微生物とその利用
2	6 月	1編 生命の科学 ヒトの生命現象
3	7 月	2編 物質の科学 材料とその再利用
4	10月	3編 光や熱の科学 光や熱の性質とその利用
5	11月	4編 宇宙や地球の科学 自然景観と自然災害
6	12月	

評価の観点	評価の規準
知識・技能	○自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 ○観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	○自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現しているか。
主体的に学習に取り組む態度	○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしているか。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	理科	生物基礎	2	6	8	12	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		改訂 新編生物基礎 東京書籍	新編生物基礎 NHK出版				4		

学習目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を育てるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	1編 生物の特徴 生物の多様性と共通性 生物とエネルギー
2	6 月	2編 遺伝子とのはたらき 遺伝情報とDNA 遺伝情報とタンパク質
3	7 月	3編 ヒトの体の調節 ヒトの体を調節するしくみ
4	10月	3編 ヒトの体の調節 免疫のはたらき
5	11月	4編 生物の多様性と生態系 植生と遷移
6	12月	4編 生物の多様性と生態系 生態系と生物の多様性

評価の観点	評価の規準
知識・技能	○自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けているか。 ○観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けているか。
思考・判断・表現	○自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し、観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、根拠を基に導き出した考えを表現しているか。
主体的に学習に取り組む態度	○自然の事物・現象に主体的にかかわり、それらを科学的に探究しようとするとともに、探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしているか。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						実技	自習形式		
通年		体育 1	3	3	15	24	48	筆記	1
種別	保健 体育	教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		現代高等保健体育 大修館書店	現代高等保健体育 NHK出版				7		

学習目標

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	6月	スポーツの発祥と発展、文化としてのスポーツ
2	10月	オリンピックとパラリンピックの課題、スポーツが経済に及ぼす効果
3	12月	スポーツの高潔さとドーピング

評価の観点	評価の規準
知識・技能	運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けることができた。
思考・判断・表現	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養うことができた。
主体的に学習に取り組む態度	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年		保健 1	1	3	1	6	48	筆記	1
種別	保健 体育	教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		現代高等保健体育 大修館書店	現代高等保健体育 NHK出版						

学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	6月	健康の考え方と成り立ち、私たちの健康のすがた、生活習慣病の予防と回復
2	10月	休養・睡眠と健康、喫煙と健康、飲酒と健康、健康に関する意思決定・行動選択
3	12月	安全な社会の形成、応急手当の意義とその基本、心肺蘇生法

評価の観点	評価の規準
知識・技能	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができた。
思考・判断・表現	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができた。
主体的に学習に取り組む態度	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができた。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	芸術	美術 I	2	6	8	12	48	課題	
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		新高校生の美術 I 日本文教出版	高校生の美術 I NHK出版		スケッチブック		4		

学習目標

美術の学習を通して、基礎的な技量を身に付け、表現形式の選択及び作品を具現化する為の作業計画など、構想する力を育み、意図に応じた創造的で多様な表現方法の工夫ができる。芸術性豊かな鑑賞及び展示する力を身につけ、より美術を楽しむことができる。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	デッサン、鉛筆画（円柱と立方体）①紙コップと紙箱、②ペンと消しゴム
2	6 月	人物画、水彩画、色変化表、手のスケッチ3ポーズ、手の着彩画
3	7 月	彫刻、木彫（めざし）①スケッチ、②作品
4	10月	デザイン、広報ポスター、レタリング、アイデアスケッチ
5	11月	版画、年賀状、メッセージカード
6	12月	芸術鑑賞、鑑賞の仕方

評価の観点	評価の規準
知識・技能	対象や事象を捉える造形的な視点や色彩について理解を深めているか。意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるか。
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を設定し、創造的に発想し構想を練り、価値観をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めることができるか。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組もうとしている。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	芸術	書道 I	2	6	8	12	48	課題	
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		書道 I 東京書籍	書道 I NHK出版		書道具一式（太筆、細筆、 文鎮、墨液、半紙等）		4		

学習目標	書道の幅広い活動をととして、書に関する見方・考え方はたらかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	楷書の学習
2	6 月	行書の学習
3	7 月	仮名の学習
4	10月	様々な書体（草書、篆書、隷書）
5	11月	漢字かな交じりの書
6	12月	書道史・生活に生きる書

評価の観点	評価の規準
知識・技能	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身につけることができた。
思考・判断・表現	書のよさや美しさを直感的に受け止め、表現や鑑賞の活動の契機とすることができている。表現活動においては、知識や技能を得たり生かしたりしながら、自らの意図に基づいて構想して表現を工夫している。
主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現や鑑賞の学習に取り組む態度、生涯にわたり書を愛好する心情、資質などが身につけることができた。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	外国語	英語コミュニケーション I	3	9	12	18	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		All Aboard! English Communication I Revised 東京書籍	All Aboard! English Communication I Revised NHK出版				6		

学習目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの各領域別に目標を設定してその実現を目指す。各領域を一体的に育成しながら教科書等の題材(読み物)を通して豊かな人間性を育ていけるような教材(報告課題)を作成する。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	5 月	be動詞・一般動詞、Pre-Lesson 1、2
2	5 月	過去形、Lesson 1 Breakfast
3	6 月	進行形、Lesson 2 Quokkas
4	7 月	助動詞、Lesson 3 Tarain Driver
5	10月	to不定詞、Lesson 4 Miracle Mirror
6	10月	受動態、Lesson 6、Funny Pictures
7	11月	比較表現、Lesson 7 Diary of hope
8	12月	現在完了形、Lesson 8、Door to
9	1 月	関係代名詞、Lesson 10、Pigs from Hawaaii

評価の観点	評価の規準
知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法の知識を身に付け、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができる。必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができる。
思考・判断・表現	幅広い話題について、学習した内容を使って、情報や考えなどを端的にまとめて、かつ詳細に伝えることができる。
主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に学習した内容を用いてコミュニケーションを図るとともに、他者に配慮して自分の意見や考えを表現することばできる。

履修 期間	教科	科 目	単位数	レポート 本数	スクーリング 出席必要 時間数	スクーリング年間実施時間数		試験 形態・回数	
						講義形式	自習形式		
通年	家庭	家庭基礎	2	6	4	12	48	筆記	2
種別		教科書	学習書		副読本等、学習に 必要なもの		放送視聴による 面接指導時間数の 減免上限		
校内		家庭基礎 自立・共生・創造 東京書籍	家庭基礎 自立・共生・創造 NHK出版				2		

学習目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

レポート番号	提出目安時期	レポート学習内容
1	4 月	第1章 生涯を見通す、第2章 人生を作る
2	5 月	第3章 子どもと共に育つ、第4章 超高齢社会を共に生きる、第5章 共に生きる
3	6 月	第6章 食生活をつくる、前期の復習
4	9 月	第7章 衣生活をつくる
5	10月	第9章 経済生活を営む
6	11月	第10章 持続可能な生活を営む、第11章 これからの生活を創造する、後期の復習

評価の観点	評価の規準
知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付ける。
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。
主体的に学習に取り組む態度	様々な人と協働し、より良い社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活充実を図ろうとする実践的な態度を養う。